



1 群馬県支部長あいさつ

支部長 高原 きよ美



日頃より、全国保健師長会の活動にご理解とご協力をいただき、感謝申し上げます。昨年度に引き続き支部長を務めさせていただくこととなりました。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、私たちを取り巻く社会は、少子高齢化や人口減少の進展に加え、自然災害や新興感染症への対応など、複雑かつ多様な課題に直面しています。

このような状況のもと、国の「2040年を見据えた保健師活動のあり方に関する検討会」において、ライフコース全体を見据えた切れ目のない支援や健康格差の縮小、地域共生社会の実現に向けた方向性が示されました。その取りまとめを踏まえ、「地域における保健師の保健活動について」（保健師活動指針）が改訂され、保健師の役割は、個別支援中心から地域全体を見渡したマネジメントへと広がり、統括機能や多職種連携を強化しながら、地域特性に応じた持続可能な保健活動を進めていくことが求められています。

また、全国保健師長会においては「全国保健師長会活動指針 2026」が示され、未来を見据えた公衆衛生看護活動の展開と人材育成の強化が掲げられており、地域全体を俯瞰した実践の重要性がますます高まっていると感じております。

本支部におきましては、令和8年度総会及び研修会を開催いたしました。研修会では職域保健の取組と地域との連携についてお二人の講師からご発表いただき、地域と職域のつながりについて理解を深めるとともに、今後の実践につながる多くの学びを得ることができました。

今後も、会員相互のつながりを大切にしながら、県内の保健師の皆様がいきいきと活躍し、住民の健康を守ることができるよう、全国や北関東・甲信越ブロックの動向や情報を発信しながら、活動を進めてまいります。引き続きご協力のほど、よろしくお願いいたします。

2 令和8年度支部総会が開催されました

6月6日（土）ぐんま男女共同参画センターにおいて、開催されました。

46名の会員の皆様に、ご参加いただきました。

♪令和8年度会員数は 88 名です

今年度の会員数は、市町村 33 名、中核市 37 名、県 18 名で 88 名です。

総会員数はほぼ横ばいですが、今年度新たに加入された方もいらっしゃいますので、本会の魅力を高められるよう努力していきたいと思います。

未加入の方がお近くにいらっしゃいましたら、是非お声をかけをよろしくお願いいたします。

♪令和 8 年度群馬県支部役員 今年度も、よろしくお願いします

支 部 長 高原 きよ美（太田保健福祉事務所）
副支部長 福田 尚美（桐生市）
書 記 野本 涼子（前橋市）
会 計 松本 弘子（高崎市）
監 事 牛込 久美子（渋川保健福祉事務所）

♪令和8年度全国保健師長会部会・委員会

広報委員 土屋 信子（高崎市）
市町村部会委員 大谷 直子（館林市）
50周年記念事業特別委員会委員 河原 歩（高崎市）



3 令和 8 年度第 1 回研修会について

「保健活動の推進 産業保健師の実践から～職域保健の現場での取り組み～」
サンデン株式会社 日本事業部 総務課 保健師 林 聡子氏

「伊勢崎保健福祉事務所における地域職域連携推進事業の取組」
館林保健福祉事務所 危機管理専門官 本島 たみ子氏
（前伊勢崎保健福祉事務所保健第二係長）



【感想】 令和 8 年度全国保健師長会群馬県支部研修会に参加して

県保健福祉事務所保健師

『職域保健と地域保健の連携』について、2 名の講師の講話がありました。

サンデン株式会社の林さんからは、産業保健は、長期的・継続的に関われる点が強みである一方、退職後に支援が途切れると、自ら地域の情報を得られず、孤立や孤独、さらにはメンタル不調に陥る場合もあるとのこと。そのため、退職後を見据えた支援を工夫していることや退職前から地域資源を紹介することの大切さを話されていました。

次に、前・伊勢崎保健福祉事務所の本島さんからは、保健所が地域・職域連携推進事業の一環として実施している産業保健師・看護師ワーキンググループについて紹介がありました。管内企業 11 社が参加しており、企業同士のつながりのニーズの高さを実感されたとのこと。また、市町の参加も得られるようになり、これからさらに協力を深めていくことが大切だと話されていました。

今回の研修を通じて、産業保健師が退職後まで見据えて支援をしていることや、既に連携を進めている地域があることを知りました。継続した健康づくりのため、職域と地域の双方にとって良い方法を考えていくことが大切だと感じました。

【感想】 令和 8 年度全国保健師長会群馬県支部研修会に参加して

市町村保健師

今回の研修会は、産業保健師として(株)サンデンの職域現場でご活躍されている林先生と、(株)サンデンを含む伊勢崎地区地域・職域連携推進事業に取り組まれた本島先生のお話を拝聴しました。

現在、私はがん検診や成人健診を担当しています。研修の中でもありましたが、人によって健康への向き合い方や物事の価値観は本当に様々だと実感しています。「健康は大事」と受診勧奨をしたところで、市民はそう簡単になびきません。また、誰が市検診の真の対象者であるか把握できず、受診勧奨のターゲットが絞れません。

今回の研修から、職域分野でも社員の退職後を気にかけていることがわかりました。この切り替わり時点を捉え、双方からうまく働きかけることができればよいのではないかと思います。

がん検診の目的はがんによる死亡の減少ですが、まずは対象者の健康と幸せを願い、今後も努力していきたいと思います。先生方、役員の皆様、貴重な勉強の機会をありがとうございました。



【皆さんの声（アンケートより）】 感想、今後どのようなことに活用できそうか

- ・地域職域連携推進事業の実施にあたり大変参考になった。
- ・管外の事例を聞いて参考になった。
- ・地域職域連携の大切さを改めて感じた。
- ・まずは、地域の企業とのお互いの情報共有を持つ。なにかできることから始めてみる。
- ・地域と職場とのつながり方について考えて、職場で共有し活かしていく。
- ・企業とつながる効果を知ることができ、つながる事業展開を行いたいと思った。
- ・市町村と企業との連携。
- ・退職後の検診等の受け方について周知方法を検討したい。
- ・地域住民への啓発の方法、内容に活かせる。
- ・職域での取り組みを知ること、事業を企画する上で幅が広がる。
- ・検診受診率をあげるためのアプローチなどの参考になった。
- ・産業保健師ワーキンググループの取り組みが他でもできそうだった。

4 北関東・甲信越ブロック研修会

今年度は長野県支部が主催となります。

①日 時：令和8年9月26日（土）13:00～16:30（予定）

②場 所：長野市 シャトレゼホテル長野（集合型）＋後日オンデマンド配信予定

③テーマ：「未来に紡ぐ統括力～管理期に発揮する統括的管理能力を身につける～」

詳細は開催県から通知が届きしだいメールでご案内します。

5 令和8年度全国保健師長会代議員総会・研修会

令和8年11月7日（土）福岡県 アクロス福岡 4階 国際会議場にて、ハイブリット形式（現地／YouTube）で実施されます。

詳細は全国保健師長会HPに開催要領が掲示されますので、御確認いただき、ぜひ御参加ください。

6 第2回県支部研修会

日時や内容等が決まりましたらメールでご案内します。

